## 地域包括ケアの地区展開 令和7年度 上北沢 地区アセスメント

		_	_																		
	面積 (k m²)	(人)	人口 密度	高齢者 人口	高齢化 率(%)	年少人口(人)	年少人 口率		平均世 帯人数	高齢者が 	いる世帯	<b>芳数</b>		高齢者が	いる	介護保険	È	障害者手  者	帳保持	障害サー  給者	・ビス受
	(Kill)		(人/k	(人)	7 (70)		(%)	( Fr. 111 )	(人)					445 <del>4</del>	5T						
			m²)								高齢単 身者世	高齢者 のみ世			内高齢 単身・	認定者 数(人)	認定率 (%)				障害児 通所給
											帯数	帯数	がいる		高のみ	3,4 ( ) ( )	(/0/	帳		100/1011	付
λ.													世帯		世帯率						
口口															<u> </u>		<u> </u>				<u> </u>
	1.716	24,646	14,362	5,242	21.27%	2,507	10.17%	14,172	1.74	3,936	1,953	968	1,015	27.77%	20.61%	1,077	20.55%	585	168	239	70
	傾向																				
	世田谷区の北西に位置し、北側に杉並区が隣接している。人口は28地区中21番目の数値であり、高齢化率は21.27%で区内全域で9番目に多い数値である。また、年少人口率は10.17%となり、																				
	区内全域で20番目の数値となっていることから、高齢者の割合が比較的多い地区であると推察される。また、障害者手帳保持者については、全域の平均と比較するとやや少ないが、愛の手帳 保持者で比較すると平均をやや上回っている。																				
	町人 .	:   \   \   \   \	中ロング	* * # .	- **-			社協・	<b>ラム・トカ</b> .	カム 4カー	上江士	次派明		ナム江垂	<b>日本</b> 1. 7.	の形织は	1/5				
地	町会・ 自治会	会員世 帯数						新たな	民間施	地区サ	援体制	資源開 発・生	・生		団体とそ	の取組内	谷				
	数			サロン	子育て	ミニデ		居場所	設の活 動場所	ポー ター登	整備事	活支援サービ		○批域サ	ーービスサ	たすぎHR	₹・区境で	ある上北流	欠5丁目の	アパート	生会所
					サロン	イ		登録団 体数	発掘件	録数	議体開	ス件数		で、世田	谷区及び	杉並区在	住の乳幼	児の保護者	者を対象。	とした「!	リフレッ
									数		催回数							さんのい; R健室カフ			
域活														屋を開催	。アクシ	ョンチー	ム立ち上	げを実施。	その他、	中高生命	の居場所
活動																		いる。○\ ○かみき			
35/)														コーディ	ネーター	による子	育て相談	会を開催し	している。	子どもる	と遊びな
																		ことについ			
	4	5,086	26	21	. 3	2		6	21	63	9	) 4	L					つ会」とし			
		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			·	l		<u> </u>									
	地域密着型サービス								護老人	人保健	軽費老	サービ			児 通所	系・共同	生活介護	等			
							ス付き 高齢者	400000000000000000000000000000000000000													
	定期巡回・随時	夜間対 広刑訪	認知症	小規模	看護小 担棋名		地域密 着型特	- 1	7, 2	加西拉	ム	向け住	うち、 特定施					「ワーク 私の家せ <sup>、</sup>			
生活	対応型	応型訪 問介護		多機能 型居宅	機能型	グルー	別養護					宅、有 料老人	設入居	沢」、「	「グループ	゚ホームこ	いのにあ	」、「ラス	ポール八‡	潘山IV」、	「花み
活支援	訪問介 護看護		護	介護	居宅介 護	プホー ム	老人 ホーム					ホーム	者生活 介護	ずき寮」	、「ある 「ひだまり	か世田谷	、、「放	課後等ディ	イサービン	ス フェ!	リチ
援	受任唆				哎		<i>A</i> , <i>A</i>						刀 唆		07249	ヘッハ」					
		0		1	. 1	2	1	1	1	0	1	. 6	3								
		炎支援機関			•																
		ラス、ぽー		やま																	
匠	医	4、訪問看 2松沢病院	<del>矆寺</del> ・はたの	クリニッ	<b>ク・八幡</b>	山ハート	クリニック	7 • 福地	艮科・柴本	マ内科・源	を辺内科グ	フリニック	7 • 上北沢	クリニッ	ク・清水	メディカ	ルクリニ、	ック・三字	三小児科・	・桂眼科ク	フリニッ
療	ク・耳鼻	Z松沢病院 鼻咽喉科大	橋クリニ	ック・た	かさごク	リニック	• 黒坂内和	・斎田原	皮膚科医院	・八幡山	皮ふ科・	あんクリ	ニック世	田谷・元	谷整形外	科・そよ	かぜ訪問	看護ステー	ーション、	滝沢歯科	平医院、
	图科森	田医院、い	いしま歯	科医院、	川崎密科	医院、上:	化沢みどり	の密料と	を院、かみ	で楽局、	まこころ	)楽局、ク	マヤ楽局	、ユニス	マイル楽	<b>向八幡</b> 山)	占				

	児童館	上北沢児童館							
	その他、児童施設	福音寮(児童養護施設)、たからばこ(若者の居場所)							
	おでかけひろば	ぽっぽちゃんひろば、ぐみの木ひろば、(児童館でも実施)							
	保育施設	上北沢保育園、松沢保育園、南八幡山保育園、いずみの園保育園、えにっくす八幡山保育園、上北沢こぐま保育園、小さな おうち保育園							
ど	幼稚園	八幡山幼稚園、松沢幼稚園							
も ・ 教	新BOP	上北沢小学校新BOP、八幡山小学校新BOP							
育	地区内に所在する小学校または関係の ある小学校								
	地区内に所在する中学校または関係の ある中学校								
	地区内に所在する高校・大学等または 関係のある高校・大学等	明治大学(八幡山グラウンド)、日本大学(文理学部)、東京都立広尾看護専門学校(仮設校舎)							
	子どもに関するその他の事項								
	子ども食堂(どんぐり食堂八幡山、かる ター、青少年上北沢地区委員会、オア	みきたざわ子ども食堂、こぐましょくどう)、子育てサロン(チームOK、オルオル、OHANA)、地域子育て支援コーディネー シス八幡山(学習支援)							
そ	その他の支援機関など(例:就労支援	など)							
の他支援	○生活介護・就労継続支援(B型)1件	「コイノニアかみきた」、青少年交流センター「アップス」							
	교육상								
公	図書舘  W区今館 区民集会託わび	上北沢図書館(上北沢区民センター、上北沢児童館との複合施設)							
公共施設	地区会館、区民集会所など	上北沢区民センター、上北沢地区会館、八幡山区民集会所、八幡山地域体育館 また、社会福祉協議会のふれあいの家が上北沢・八幡山とも1箇所ずつあり、様々な自主グループが活動を行っている。							

且んでいる 也区の南東 た担流のに

主な公園・緑道・広場

将軍池広場、上北沢公園、八幡山はなもも広場、八幡山はらっぱ広場ほか18件

土地利用、地理的特徴(住宅の特徴を含む)

地区の中心部は松沢病院を中心とした都の敷地が広がり、上北沢と八幡山が物理的に分断されている。また、北部は杉並区上高井戸1~3丁目との境界が複雑に入り 組んでいる。西側の環状8号線沿いでは、都営八幡山アパートが建て替え工事中であり、令和7年12月より順次移転開始予定である。

地区の南東に位置する上北沢自動車学校跡地にて、現在マンション建設が進められている(「(仮称)桜上水計画」)。

赤堤通りに、「ザ・ライオンズ八幡山新築工事」が行われている。

令和6年度9月に都立広尾看護専門学校が松沢病院敷地内に移転し、令和8年度以降に世田谷消防署上北沢出張所が同敷地内に移転予定である。

交通の便に関する事項(鉄道・道路)

鉄道は、京王線八幡山駅(駅舎は杉並区)、上北沢駅があり、現在、上北沢駅付近の連続立体交差事業が進んでいる。

| | 道路は、北部に交通量の多い甲州街道、西側に環状八号線がある。南側には東西に補助 5 4 号線、南北に赤堤通り、東側には荒玉水道道路がある。南北の公共交通 | | はバス路線に限られており、拡充が求められている。

産業に関する事項(買物・商店街などを含む)

八幡山商店会八栄会、八幡山商福会商店街振興組合、上北沢共栄会、上北沢中央商店会があるが、各商店街の会員数は近年減少傾向にある。 また、コンビニエンスストアやスーパーマーケットが、八幡山駅、上北沢駅周辺に点在しており地区の北側に集中している。 郵便局は、2か所(世田谷八幡山郵便局、八幡山駅前郵便局)にある。

## 防災 → 各地区の地区防災計画を参照

3 / 4 ページ

地区ビジョン

|自分たちのまちは自分たちで守り、育てていくあったか上北沢 | ~お互いが顔見知りになりみんなで力を合わせてまちを守ろう~

## 課題、取組みの方向性

1. 松沢病院や中部総合精神保健福祉センターがあることから、上北沢・八幡山エリアには、多くの精神障害のある方が暮らしている。こうした方が気軽に参加できるような居場所が少ないことが課題となっていることから、上北沢縁側プロジェクト「えんがわカフェ」の取組みを通して、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に参加できるような居場所の構築に取り組んでいる。

2. 地域資源を発掘し、地域への参加促進のための連携を進めていく必要があり、地区内のイベントへの参加や地区住民の施設の利用などを通して地域コミュニティの拡大を図っていく。

解 3. 杉並区に隣接しており、世田谷区の情報のみでなく杉並区在住向けの情報も求められているため、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会では、広報紙を杉 決 並区の医療機関等にも配布している。児童館の利用者にも杉並区在住の方が多いため、近隣の杉並区立児童館と連携し情報交換を行い、利用者に情報を提供できる ようにしているほか、地域の子育て施設や団体、小学生・中高生世代の関係施設と連携し、年齢などで分断されない居場所づくりをすすめている。また、令和4年 東 京王線の連続立体交差事業に関連し、八幡山駅近辺でも、町会、自治会、商店街、行政等関連のある団体による八幡山情報交換会を立ち上げ、情報共有を図る 組 動きが始まっている。

4. 地域共生の家「岡さんの家」及び特別養護老人ホーム上北沢ホーム内で開催されている「みんなのカフェ」で結成された、認知症になっても誰もが自分らしく希望を持って暮らすことのできる地域共生社会を目指すアクションチームの活動を定例化していく。また、地域に暮らす様々な年代の人が参加し、認知症の有無にかかわらず安心して生活できる街づくりのため、アクション講座を実施し、アクションチーム作りを推進していく。

## 参加と協働の地域づくりの取組み内容(参加と協働を基盤とした地区課題への取組み)

- 松沢病院や中部総合精神保健福祉センターがあることから、上北沢・八幡山エリアには、多くの精神障害のある方が暮らしている。こうした方が気軽に参加できるような居場所が少ないことが課題となっていることから、上北沢縁側プロジェクト「えんがわカフェ」の取組みを通して、障害の有無に関わらず、誰もが気軽に参加できるような居場所の構築に取り組んでいる。
- 地域資源を発掘し、地域への参加促進のための連携を進めていく必要があり、地区内のイベントへの参加や地区住民の施設の利用などを通して地域コミュ ② ニティの拡大を図っていく。(令和6年度実績:①都立松沢病院(定例会)、②都立中部総合精神保健福祉センター、③公益財団法人 大宅壮一文庫、④都立広尾看護専門学校、⑤明治大学)
- 杉並区に隣接しており、世田谷区の情報のみでなく杉並区在住向けの情報も求められているため、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会では、広報紙を杉並区の医療機関等にも配布している。児童館の利用者にも杉並区在住の方が多いため、近隣の杉並区立児童館と連携し情報交換を行い、利用者に情報を提供できるようにしているほか、地域の子育て施設や団体、小学生・中高生世代の関係施設と連携し、年齢などで分断されない居場所づくりをすすめている。また、令和4年度より京王線の連続立体交差事業に関連し、八幡山駅近辺でも、町会、自治会、商店街、行政等関連のある団体による八幡山情報交換会を立ち上げ、情報共有を図る動きが始まっている。
- 地域共生の家「岡さんの家」で結成された、「上北沢アクションチームin岡さんの家」及び特別養護老人ホーム上北沢ホーム内で開催されている「みんなのカフェ」で実施されている、認知症になっても誰もが自分らしく希望を持って暮らすことのできる地域共生社会を目指すアクションチームの活動を定例化していく。また、地域に暮らす様々な年代の人が参加し、認知症の有無にかかわらず安心して生活できる街づくりのため、アクション講座を実施し、アクションチーム作りを推進していく。
- ⑤ ・上北沢縁側プロジェクトでは、地区社協の地域福祉推進員(町会・自治会、民生・児童委員、日赤等)をはじめ、地区サポーターやサロンのスタッフ、 ピアサポーター、障害支援事業所5団体と連携し、障害の有無に関わらない居場所づくりの推進を行っている。
- 6 ・上記の各施設との情報連絡会の他、年1回、地域包括ケア推進プロジェクトとして地区内交流・意見交換会を実施し、まちづくりに関わる関係者間の情報共有と、新たな活動のきっかけ作りを図っていく。
- ・児童館の子育て支援事業では地域の方で構成される「子育てサポーター」が活躍しており、児童館のおでかけひろば事業での乳児の抱っこサポーターや 運営支援をしている。サポーター会議では地区の情報交換のほか、サポーターによる来館者視点の提案があがる。より使いやすい児童館に向けた動きやイベント実施に繋がっている。現役の子育て中の方もサポーター登録しており、支援される側である乳幼児の保護者も、支援する側になる機会となっている。
- ⑧ 都営八幡山アパートの建替えに伴う入居に際し、居住者が不安なく移転できるよう、不用品の処分や引越し業者の選定、転居に関する手続き等の情報提供や関係機関への繋ぎ等の支援を行う場として「お茶べり会」を開催し入居後も地域のコミュニティ作りに繋がるよう活動を支援する。